



2016-2017年度

広島北 ロータリークラブ週報

Rotary
Club of Hiroshima North

2017年5月18日発行 Vol. 1510

国際ロータリー会長 ジョン・ジャーム 氏
国際ロータリーテーマ

ROTARY SERVING HUMANITY
人類に奉仕するロータリー

■会長 中山 昌実 ■幹事 岡部 知之
事務局 広島市南区松原町 1-5 ホテルグランヴィア広島 6F
TEL 082-506-0050 FAX 082-506-2530
E-Mail:hnrc@world.ocn.ne.jp URL http://www.hnrc.jp/
例会 毎週木曜日 12:30 ホテルグランヴィア広島

本日の例会

2017年5月18日(木)
第2314回

ロータリーソング	「われらの生業」
来客紹介	親睦委員会
連続出席表彰	
会長時間	
幹事報告	
委員会報告	
ニコニコ箱	ニコニコ委員会
卓話時間	『0-1-再発見！再認識！Part3』 ロータリー情報委員会 副委員長 山内 盛利

前回の例会

2017年5月11日(木) 第2313回

国歌斉唱	
ロータリーソング	「奉仕の理想」
来客紹介	親睦委員会
四つのテスト唱和	職業奉仕委員会
誕生月お祝い	
会長時間	
幹事報告	
委員会報告	
ニコニコ箱	ニコニコ委員会
卓話時間	『新会員自己紹介』 篠崎保範 会員 / 荒本徹哉 会員

誕生月お祝い



左から、岡田(昌)会員・森会員・岩森会員・秋山会員・中山会長
おめでとうございます！

会長時間

会長 中山 昌実

ご来客の皆さんにはようこそお越し下さいました。時間の許す限りごゆっくりお過ごしください。
4月24日の創立48周年記念夫人同伴例会では親睦委員会の皆様にはお世話になりました。また奉仕プロジェクト委員会の皆さんには、我がクラブの奉仕活動の紹介をしていただき、ロータリーはちゃんと奉仕をしているということをご夫人に知っていただく機会となりました。会員の皆様はこれで夜も出かけやすくなったのではないかと思います。
さて、今月は「青少年奉仕月間」です。1923年、セントルイス国際大会で「善良で健全な市民を育てる」青少年奉仕が討議されました。青少年奉仕は各種組織・活動を通じて才能と熱意を呼び起こし、奉仕と責任感を育てることを目的としています。つまり青少年に対し奉仕をするのではなく、青少年の奉仕と責任感を育成をすることです。我がクラブでは高校生を中心としたボランティア活動である「小さな祈りの影絵典」を支援してまいりました。
我がクラブの他の奉仕活動にも青少年に参加して頂き、一緒に奉仕活動をするのは身近な青少年奉仕です。是非とも奉仕活動の際には青少年奉仕もコラボして実施して頂ければと思います。

幹事報告

幹事 岡部 知之

《理事会報告》
*4月末付け 三宅信博氏が退会されました。
*5/25 祝寿の会開催
*6/29 最終例会並びに新会員歓迎懇親会
その他、議事録が出来ましたら会員ページにアップしますので、ご確認ください。
《BOX配布物》
*ロータリーの友誌
*ガバナー月信

委員会報告

次年度職業奉仕委員会 下川会員
*明日12日(金)に次年度職業奉仕委員会を開催します。
次年度プログラム委員会 濱本会員
*例会終了後、次年度プログラム委員会を開催します。

次年度幹事報告

幹事エレクト 越智 健剛

*次年度会員名簿を作成するにあたり校正原稿をお送りしております。提出期限は5月31日(水)です。事業概要も併せて掲載しますので、原稿を事務局に提出してください。
*事業計画書の提出期限は次週18日(木)です。期限内に必ず提出をお願いします。

同好会報告

ゴルフ同好会 小林(直)会員
 *4月29日「広島14RC合同懇親ゴルフ大会」報告
 団体9位 個人A組3位 上野会員
 *多打喜会4月例会は岡部会員が優勝しました。



野球同好会 吉永会員
 *第23回ガバナー杯RC親善野球ロータリー財団100周年記念大会
 は当クラブは3位決定戦で岩国中央RCに敗れ4位となりました。
 ご声援いただきありがとうございました。

ニコニコ箱 発表者: 山下 江会員

《お客様出宝》

広島陵北RC 久保様
 1か月振りにメイクアップに来ました。今月もよろしく願います。

《自主出宝》

中山会員・三保会員・岡部会員・丸本会員・小林(孝)会員
 本日は篠崎新会員と荒本新会員の卓話となっております。きつと面白い自己紹介が聞けることと楽しみにしております。

塩本(能)会員★ 創立例会の時に吉永会員の隣になったので、酔って200万に届かなかったら差額を出すと失言してしまいました。これで許して！

鈴木会員★ 皆様、報告が遅くなりましたが、今春、長男が東京大学に入学しました。

中山会員・坪内会員・岡部会員・上河内会員・山内会員・久保(豊)会員・杉町会員・濱本会員・神農会員・松田会員・森会員・吉永会員・小林(孝)会員・越智会員・浦会員・金井会員 先日のがバナー杯にはお忙しい中応援に来て頂きありがとうございました。試合は負けてしまいましたが、今後に向けて課題がたくさん見つかりました。それは練習することです。来年こそは必ず優勝します！

金井会員 4/30に開催されましたがバナー杯親善野球大会ですが、前日から興奮してなかなか寝付けず、5時から起きて準備していましたが、時間を間違えて遅参してしまい、貢献できませんでした。次回は甲子園で頑張りますのでよろしくお願い致します。

山下江会員 先日は山内会員、小河会員他釣鯛会の皆様、ありがとうございました。大量のホコマルをゲット出来ました。ブログ「なやみよまるく」にて「お茶目なホコマル」と題して、書かせて頂きました。

岡田(清)会員 妻の誕生日にすてきな花を有難うございました。
 森会員◇ 先日は妻の誕生日に素敵なお花を有難うございました。また、本日はお誕生月のお祝いをありがとうございます。

山村会員★ 私の不注意で100%出席に穴をあけてしまいました。大変申し訳ございませんでした。これからは深く注意致します。

岡部会員◆ 先月の多打喜会にてお恥ずかしいスコアながら初優勝させていただきました。ありがとうございます。ハンディも激減することから次回優勝はいつになるやら。2枚+アンダー1枚 計3枚

ニコニコ委員会一同(吉永会員・森会員・森嶋会員・山下江会員・山村会員・浦会員) いよいよ今年度もあと二か月となり、通常例会も残すところあと6回となりました。私達も発表する機会が一回ずつとなつてしまい寂しい気持ちでいっぱいですが、感極まって涙を流すことのないよう元気に発表させていただきます。そのためには皆さん、面白いネタを宜しく願ひ致します。

《職業ニコニコ》

迫会員 5/14(日)、ネスト本社におきまして恒例の「ネスト祭り」を行います。お年寄りから子供まで楽しめる企画を用意しておりますので是非お越しください。後方にチラシを置いてあります。

当日計 67,000円 累計 1,730,000円

★=10,000円 ☆=5,000円 ◆=3,000円 ◇=2,000円

卓話時間

『自己紹介』



篠崎 保範 会員

(2017年3月16日入会)

今日は、皆様の貴重な時間を頂戴いたし、話を聞いていただけるということで大変光栄です。どうかよろしく願ひいたします。「自己紹介」ということなんですが、ご覧のように、「見てくれ」はあまりよくありません。最近、目の下がたるんできまして、毎朝鏡見ながら“人相悪いなあ”と、思いながら、引っ張ったり、伸ばしてみたり、ばかなことをしております。で、何が言いたいかという顔は「悪人」ですが、性格は「善人」なんだと。。。結構いいヤツなんです。子供のころ、通信簿の所見にはいつも「温厚」と書かれていました。おとなしかったですね。喧嘩をしたのは小学校5年の時、サル顔のクラスメイトにブタといわれて、“ムッ”ときてぶん殴ったことがあります。後にも先にも喧嘩したのはそれ1回だけ。自分の性格を、自分の口から言うのは、ちょっと抵抗あるんですが、そこらは、今からお話する「生い立ち」をご紹介する中で、ぜひ、「そんたく」して頂けたらなあと思っております。

生まれは、1958年3月。鹿児島県鹿児島市。すぐ目の前に錦江湾そして桜島が間近に見える、鴨池球場という野球場があるんですが、その近くで生まれました。親父もお袋も先祖代々鹿児島。というわけで、生粋の薩摩隼人でございます。親父は板前でありました。鹿児島市内のお店で働いていたんですが、都会に出て一花咲かせたかったんでしょね。“包丁一本さらしに巻いて”の世界。私が7歳の時に家族で大阪に出ました。どうも「てんぷらや」をやりたいかったらしいのですが、夢かなわず、私が小学校6年の時に交通事故でなくなりました。親父が生きていたら、私も一緒にてんぷら屋をやっていたと思います。

親父が死んだあと、母方の親戚がいた福岡県の久留米市に移住。ですから中学、高校は福岡県人。現在85歳になるお袋は、今も久留米で健在にしまして、妹夫婦と暮らしています。大学は、とにかく九州から脱出したかった。ということで、広大の経済学部に進学いたしました。勉強はあまりしませんでした。合格点ぎりぎりの「可」は山ほどあるが、「優」は3つしかないというアホ学生の代名詞、「加山雄三」でした。その代わり、アルバイトと麻雀は、ずいぶん一生懸命やりました。アルバイトといっても私の場合、新聞配達。毎日新聞社の奨学生だったものですから新聞販売店の2階に住まわせてもらって、奨学金とバイト料をもらっていました。これは卒業するまで続けたんですが、親からの仕送り一切なし。これでまじめに勉強さえすれば立派な苦学生だったんですが、勉強より麻雀にはまりまして。。。。。

麻雀は、社会人になってからもよくやりました。雀荘屋から会社に出勤するなんてことも何回もありました。で、清算するときにかけていますと“もう1回だけ願ひします”と拝み倒して「自分が勝つまでやりたい」というタイプ。結構「しっこい」といいますか、

往生際が悪いといえますか。。。もちろん、自分が勝っているときは、“明日もあることだし早く帰ろう”と、サッサと切り上げるわけでありませう。

話が前後しますが、就職は、建設会社に入りました。北九州の若松が発祥の「若築建設」というところでした。セネコンの中でも港湾土木が主体の会社を、マリン・コントラクター、略してマリコンというジャンルがあるんですが、五洋建設さんなんかライバルでした。会社では、人事・総務の「畑」が長かったんですが、転勤もよくしまして東京を振り出しに、広島、岡山、松山、高松と転勤しました。途中2年ほど道路公団の仕事でトンネル現場に、事務主任ということで行かされたこともありませう。サル、キツネ、イノシシが出るような中国山地の山の中の現場で、もちろん事務主任ですから金の管理もするんですが、ダイナマイトの管理からトンネル工夫のお世話まで、やらされました。今考えると別世界の出来事です。営業も少し経験しまして、サラリーマン時代の最後は四国支店の営業部長でした。

結婚は31の時でございます。紙屋町に今でもあるんですが、広島支店の総務部にいたとき。支店の営業部長に“オマエ、30にもなつてまだ独身か？サッサと結婚せんかい。今年中に結婚したら30万祝儀をやる”と言われまして、金に目がくらんで、売り言葉に買い言葉で“じゃあ、今年中に結婚しますので、30万絶対ですよ！”ということで、一大決心しまして、お見合いを何件も、今の女房と巡り合いました。今もなんとか連れ添っています。それと、余談ですが部長の祝儀。30万のはずが5万に値切られましたが、ありがたく頂きました。

サラリーマンは25年で、フィニッシュにしました。というのが、40過ぎたころからぼんやりと定年後のことなんか考える中で、定年後のライフプランがいまいち描けなかつた。“何したらいいんやろ？”って感じですよ。もともと独立志向があつたもんですから、人生に第2ステージがあるんなら早い方がいいだろうと、それと、人事・総務の経験を活かして社会保険労務士になろうと47歳の時、脱サラいたしました。資格は辞めてから取りました。背水の陣です。資格学校に行きまして1年で取るはずが、2年かかってしまいました。それと資格取つた後も1年間研修を受けないと「開業」できないという仕組みになっていまして結局開業したのは、3年後の50になってからでありました。

会社を辞めるにあつては、まず、最大のハードルが怖い女房の説得。たぶん問答無用で切り捨てられるだろうなあと思つつつ、おっかなびっくりで女房に切り出したところ。“あなたの人生だし、やりたいと思つたことやったらいいよ”、“ご飯食べれるようになるまで私がピンチヒッターします”。“ゾーン”と来たのを今でも鮮明に覚えておりますが、それ以来、薬剤師の女房には頭が上がりないうけであります。

ただし、条件が2つついていました。

九州に帰るのは“まかりならん”。私の実家がある呉に帰つて開業しなさい。それと、たばこ辞めなさい。

で、今女房の実家で87歳になる女房のお母さん共々暮らしているわけでありませう。事務所は最初、呉の自宅に構えたんですが、まったくいてはくなくて、パツとしなかつたもので5年で見切りをつけて、広島に移しました。3年前の話です。ですから、今は毎日、呉の広から、片道1時間ちょっとかけて通つております。

子供は、男ばかり3人。まあ、子供たちは、もう既に、皆、出て行つたんですが長男は東京にいて、外資系の医療機器メーカーで営業。次男は九州工業大学の大学院。今就活中。三男も東京。専修大学の4回生。税理士目指して勉強中ですよ。

で、将来は、この三男と、「税理士」と「社労士」ということで、タッグを組んで、一緒に仕事をする！というのが、私のささやかな夢であります。ですから、息子と合流するまでに、今の事務所をできるだけ大きくしたいなあと思つていまして、それが今、私の働く一番のモチベーションになっていませう。

仕事の方ですが、事務所は、社会保険労務士事務所フェニックスといひまして上八丁堀にあります。白島線の電停で「女学院前」といひがあるんですが、その電停の真ん前。

業務の方は、企業様の労務管理だとか給与計算なんかもお手伝いするんですが、メインは「助成金」と「労基署対策」それと、最近特に、力を入れているのが『人事制度』。社員のやる気を育てる「評価制度」の導入。こちらは助成金をからめて、できるだけお客さんに負担のないような形でサポートしてあります。また、何かしらお手伝いできるようなことがあれば、お声掛けいただければ嬉しい限りでございます。最後に、学生時代もサラリーマン時代もニックネームは、「しのやん」とか「しのちゃん」。上のひとからは「しの」と呼ばれていませう。今後はぜひ、皆さんと少しでもお近づきになり、そのように、ニックネームで呼ばれるような間柄に早くなりたひと思つていませうので、今後ともよろしくお願ひいたします。以上です。ご清聴ありがとうございました。



荒本 徹哉 会員

(2017年3月23日入会)

今日の例会で、自己紹介をさせて頂く機会を得ましたことを大変光栄に思つていませう。

今日は、15分以内という事でお時間を頂いてありますので、生い立ち、職歴、そして現在勤めてあります広島バスセンターの紹介をさせて頂くことで自己紹介とさせていただきます。

1. 生まれから大学まで

私の本籍地は呉市郷原町ですが、生まれたのは、会社勤めの父の勤務地であつた旧佐伯郡沖美町(現在は江田島市沖美町)です。1955(昭和30)年2月のことですよ。幼稚園までこの旧沖美町で過ごしました。小学校に上がる頃に旧大柿町へ転居して、大古(おおふる)小学校に一年間通ひました。

小学校の2年に上がる年に当時の賀茂郡黒瀬町(現在東広島市黒瀬町)に転居して、そこで中学1年生まで過ごす事になります。五年間通つた小学校は中黒瀬小学校です。

中学2年生に上がるときに本籍地である呉市に転居しましたが、中学校は卒業するまで黒瀬中学校に通ひました。中学校では軟式野球部に入り、キャッチャーとピッチャーをしていませう。

当時の同級生の一人が、この春の甲子園に出場した市立呉高校の中村信彦監督です。中村君は尾道商業から日本体育大学に進みませう。高校時代には彼と県大会で対戦しましたが、大学時代にも神宮球場で対戦相手として再会することになりました。

黒瀬中学校での三年間を終えて、高校は呉市広町にある県立広高等学校に進学しました。1970(昭和45)年4月の事ですよ。高校でのクラブ活動はもちろん硬式野球部です。

2年生の夏が終わり新チームになってからはセカンドとピッチャーの控えをしていませう。

年が明けてから、1年生のエースが肩を痛めたこともあり、背番号「1」をもらつて本格的にピッチャーをすることになりました。

夏の県予選では、準々決勝で山下正司会員のいた県工に敗れ、ベストエイトに終わりました。

1973(昭和48)年4月、広島大学政経学部に進学し広島での生活が始まりました。同じ高校の野球部の同級生とともに直ぐに硬式野球部に入りました。そこで、同じ新入部員として出会つたのが山坂会員です。大学では四年間ピッチャーをしていませう。大学野球部では、良いチームメイトに恵まれたおかげで、1年生と3年生の時の二度全国大会で神宮球場に行くことが出来ました。四年間の事を振り返つてみて、いまさらながらに思ひのは、私は

政経学部に入學はしたのですが、卒業は「野球部」だったな、と思うくらい野球部での生活が大学生生活の大きな部分を占めていたと思っています。麻雀とパチンコも加えるべきかもしれませんが。

2. 広島市役所での職歴

四年間の大学生活を終えて、1977(昭和52)年4月に広島市役所に入りました。財政局財政課というところに配属されて、そこで約10年間市役所の各部署の予算査定と財務管理の仕事をしていました。ここで、市役所の仕事のイロハを学びました。この間、一年間は霞が関にあった当時の自治省(現総務省)に向向して、「地方財政白書」という政府が発行する冊子を作る仕事に携わっていました。結婚したのも財政課勤務中の1979(昭和54)年9月です。

1987(昭和62)年4月に秘書課に異動となり、当時の荒木広島市長の秘書を4年にわたって務めることになりました。この時には、行政のトップがどこから情報を入手し、どう考え、どう判断するのか、という事を間近で見聞する機会に恵まれました。また、この四年間には市長に随行して国内外の様々なところに行く機会を得ました。国内では、皇居もそうですし総理官邸、アムカ大使館等々です。国外では、アムカやヨーロッパもありましたが、当時のソ連が一番興味深かったように思います。オランダでは当時のペトリクス女王陛下やヘルス首相に謁見する機会を得ました。もちろん市長の随行員の一人としてです。

秘書としての四年間の後、1991(平成3)年4月に、広島市が設立した、財団法人広島アジア競技大会組織委員会に出向となりました。ここで、1994(平成6)年10月に、首都以外で初めて開催された第12回アジア競技大会広島大会の準備、それから大会開催時の運営、終了後の公式報告書の作成などに携わりました。ここでは、大きなイベントをやり遂げることによる充実感を味わうことが出来ました。また、組織委員会は広島市のみならず、広島県や県内他市町、加えて民間企業からの出向者で構成されていましたので、それらの方々とは知り合ったことが、私の後の大きな財産となりました。当時の市長は平岡 敬氏です。

1995(平成7)年4月に、その前年に開学したばかりの広島市立大学事務局に異動しました。大学事務局で五年間仕事をしましたが、その内三年間は大学院と広島平和研究所の創設に携わりました。1998(平成10)年にその二つの創設を終え、私は新設の広島平和研究所の次長として研究所の運営を任せられました。この研究所の初代の所長は、日本人初の国連職員で、事務総長特別代表(国連事務次長)としてカンボジアと尽力するとともに、ユーゴスラビア紛争の調停役を務めた明石康氏です。

研究所では、様々な国の人たちと仕事をし、交渉をしてきた明石氏から色々なお話を聞く機会に恵まれました。中でも「外国人と交渉するときには、違いを理解するというより、違いを楽しむ、という気持ちが必要だ。」、それから「全て悪い選択肢の中で、一番悪くない選択肢を選ぶのが外交交渉だ。」という言葉が強く印象に残っています。長い経験の積み重ねから会得されたことだと思います。私が、明石氏から学んだ事を、その後の自分自身の仕事に活かせたかどうかは、自信がありません。

2000(平成12)年4月から市教育委員会青少年育成課長を一年、同総務課長を三年務め、2004(平成16)年には都市計画局都市計画担当部長として広島駅新幹線口の若草町地区の再開発、マツダスタジアムの建設を担当しました。

2005(平成17)年4月には学校教育部長として再び教育委員会へ異動し、教員人事などを担当しました。教育委員会では、学校現場の教員と教育委員会事務局職員の、子どもたちに対する熱い思いに触れ、私自身もその思いを共有できたと思っています。

2008(平成20)年4月から一年間の教育次長を経て、2009

(平成21)年4月に都市整備局長に就任しました。ここでは、都市計画マスタープランや景観計画の策定、旧市民球場跡地など都心の大規模未利用地の活用計画の検討、市営住宅の建設・管理運営、等に携わりました。

2011(平成23)年4月の松井市長の誕生を経て、同年7月に副市長に就任しました。都市計画、市営住宅、道路交通、下水道、消防・防災・危機管理、水道など、いわゆるハード系の部署を担当していました。

四年間の副市長の時にも色々な経験をしましたが、その中で最大のは2014(平成26)年8月20日に発生し多くの生命が失われた「8・20土砂災害」です。当然のことですが、精神的にも肉体的にもかつて経験したことのないハードな経験でした。災害からの復旧・復興には、ここ広島北RCを始めとして全国の口から多くの支援が寄せられました。改めて心からお礼申し上げます。本当にありがとうございました。

3. 株式会社広島バスセンターの代表取締役社長に就任

4年間の副市長の任期を終えて、2015(平成27)年7月に現職である株式会社広島バスセンターの代表取締役社長に就任しました。弊社の事業内容は、①バスターミナル、②ショッピングセンター「アーク広島センター街」、③広島センタービル駐車場の運営管理、及び④バスターミナル内の売店の営業です。弊社の株式の四割弱を広島市が保有しています。

広島バスセンターは今年7月29日に、開業から60年の記念の日を迎えます。弊社は、戦後の広島市の再建復興に資することを目的に、国を始め県、市、財界のオール広島協力ののもと、1957(昭和32)年7月、事業を開始しました。一般バスターミナルとしては全国初でした。

1974(昭和49)年10月には、バスターミナルを核に広島そごう、広島センター街を擁するバスターミナルビルを建設しました。商業施設と同居した複合型のバスターミナルビルも全国初で、以後、各地で建設された同様の施設の先例となりました。

その後、広島市の発展とともに歩みを進めてきたのはご承知の通りです。しかし、アストラムラインの開通などもあり、現在ではバス乗り入れ台数はピーク時の7割程度に減少しました。

さらに、郊外型商業施設の進出で広島商圏の分散化が進んだこともあって、弊社を始め紙屋町・基町地区を取り巻く環境は大きく様変わりしています。

今後も、紙屋町・基町地区にぎわいを創出し続け、さらなる発展を遂げるためには、その将来像を共有すべく、再びオール広島で議論する時期に来ているのではないかと思います。

去る3月末には、広島市により、各界の意見を集約した「都心活性化プラン」が策定されました。広島市の都心には、活性化の鍵を握る潜在的な魅力がたくさんありますが、都心の西側の拠点施設、バスセンターもその一つだと思っています。

弊社が、公共交通機関の連結施設としての機能を継続していくためには、社会状況を見据え、バスセンターの特性と魅力を活かして、新しい発想のもと、新分野へ果敢にチャレンジし、時代に応じた変化を遂げるべき時期に来ていると感じています。

これまで、事業を支えて下さった多くの皆様に感謝しますとともに、これからも、地域に根差した経営を続け、都心の拠点施設として広島市の発展に寄与していきたいと思っています。

4. 結び

大学を卒業して約40年を経て、それなりに年だけは取ってきていますが、ロータリークラブの一員として活動するのは初めての経験です。色々気づかない点も多く、会員の皆様にご迷惑をおかけするようなことも多々あるかと思いますが、皆様のご指導を仰ぎながら真面目に、地道に活動を重ねていきたいと思っていますので、どうぞよろしく願いいたします。

- 出席報告 出席委員会
2017年5月11日(木) 会員数 90名
出席 78名 欠席 12名 来客 2名
4月20日例会 修正後出席率 100%
- 来客紹介 親睦委員会
藤井 一裕 様(広島)
久保 弘睦 様(陵北)
- 次回例会 2017年5月25日(木)
卓話: 広島北RC定款・細則・内規改正について
食事: 洋食

第23回ガバナー杯親善野球大会

3月25日(土) 大会1日目 会場: 呉市民球場
三次RC対広島北RC 4-16で勝利
防府RC対広島北RC 6-2で負け ※3位決定戦に進む



4月30日(日) 大会3日目 会場: マツダスタジアム
3位決定戦
広島北RC対岩国中央RC 4-6で負け



お疲れ様でした。